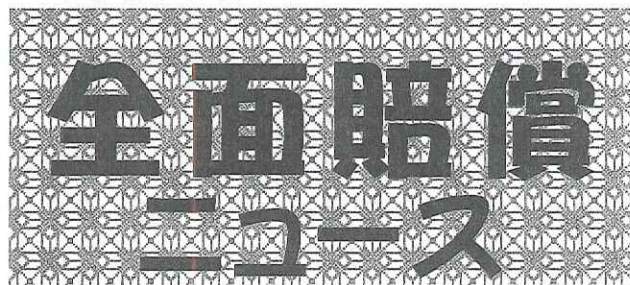


第5号 2012年11月20日(火) 発行

相馬新地・原発事故の全面賠償をさせる会

事務局 〒979-2542 相馬市成田字五郎右工門橋373
村松孝一方 電35-2797 FAX 35-2903



加害者としての誠意を示さない東電 「私たちの生活を元に戻せ! 原発をすぐなくせ!」は ここに住むすべての人の思い



(第2回東電の説明会)

11月17日の第2回東電の説明会は、会員や一般の人を含め80名の参加で開催されました。

東電は、会として提出していた要望書と前回の説明会で出された質問について当日になって書面で回答してきました。

その中身は、第1回目の説明会から前進せず、参加者からの質問には、先に支払われた大人8万円、子どもと妊婦40万円の賠償をしたと繰り返すのみでした。子どもと妊婦の支払いは昨年12月分までであり、その続きとして、「福島県及び市町村との協議を早急に進め、12月に受付・支払いを開始したい…」と言っていますが、避難による支出の増加・自家菜の補償など (二面に続く)

総会を開きます

前号でご案内のよ
うに、十二月二日に
総会を開きます。
この総会は、①今
後の運動をどう進め
るか、②集団訴訟の
取り組みについて、
③会員拡大について
を、皆さんで討議し
ます。
多くのみなさんの
参加をお願いします。

と き 12月2日(日)
14時(午後2時)から
ところ 相馬市コミュニティセンター

(一面から続く) 賠償の拡大について具体的な回答はしませんでした。

「お金がほしいのではない、放射能の無い元の生活に戻してほしいと言っているんです」と説明会の予定時間が過ぎるまで気迫を込めて訴えましたが、東電はかたくなに拒否の態度をくずさず、参加した人からは「こんな説

明では納得できない、再度説明会を開け」の声が出ました。

しかし東電は次回の説明会を開くことを拒否しました。東電が来ないならこちらから出向きましょう。20日の「公害総行動」東京行きは、その第1弾です。そして裁判に訴える集団訴訟の取り組みを準備しています。



17日東電説明会の会場

お知らせ

総会で集団訴訟について詳しく説明しますが、原告団に参加していただける方は印鑑と訴訟費用6,000円をご用意ください。

会員目標 1000人

現在会員 130家族・255人

事務局会議

とき 11月25日(日) 19時

ところ 生涯学習会館

カンパのお願い

17日の東電の説明会でカンパ箱を用意したところ、8,300円が寄せられました。ありがとうございます。東京行動などで有意義に使わせてもらいます。



尚、会活動に使われる経費は、皆さんからの会費のみではまったく足りません。新聞折り込みをすると1回5万円かかります。皆さんの熱いご協力をよろしくお願いします。